

「存在」をテーマとした映像制作

a2200322 二瓶理

【背景・制作意図】

女性の間で着物を普段着としている人を多く見かけた。彼女たちはそれぞれ流行などではなく、着物を一つの自己表現として用いていた。それは、表現することで存在を主張しているように感じた。なぜ彼女たちは今まで着ていた洋服を脱ぎ捨て、わざわざ手間のかかる着物へと変化しようとするのだろうか。それは、着物を着るという自己表現を用いて自分自身の存在目的を見いだしているからではないだろうか。経験することもできなかった真新しい感覚を、発見し新たな自分を知り、簡単には手に入らないもどかしさとさらなる自己表現への欲求、ようやく見つけた自分の存在目的。私はこれらを映像で表現しようと考えた。

【映像コンセプト】

自分自身を題材として、存在目的を探求する旅を映像化。その旅の中で表現するという一つの方法を見つける。

【表現方法】

全体的な編集 Flash
画像編集 Photoshop

【過程】

- ・企画（映像の内容の立案）
- ・イメージ化（絵コンテ制作）
- ・素材収集（動画、静止画等の編集）
- ・映像化（Flashによる編集）

【考察】

構想の段階では伝えたい内容に重点を置いていたが、そのイメージをよりわかりやすく相手に伝えるには、どうしたら上手く伝わるのが重要ということを感じました。



過去：自分だけの狭い部屋の中で、色もなく存在していた。ある時大きな衝撃を受ける。それは着物という彼女にとって味わったことのない新鮮な出会い。



現在：着物が自分自分を表現する一つ的手段として考えるようになる。着物をきっかけに表現することで存在主張すること考える。



未来：相手に考えや感情を伝えるための方法をさらに見いだしたいという感情を強く持つようになる場面。